

設問・単純集計結果・集計表

I 男女平等に関する意識についてお伺いします

N=1,791

問1 あなたは、次に挙げる分野で男女は平等になっていると思いますか。(1)から(8)までのそれぞれについて、あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

	男性の方が 優遇されてい る	どちらかとい えば男性が優 遇されている	平等になっ ている	どちらかとい えば女性が優 遇されている	女性の方が 優遇されてい る	分からない	無回 答
(1) 家庭生活で	13.6	39.0	28.2	6.1	2.0	7.6	3.5
(2) 職場で	21.1	36.9	19.7	4.7	2.2	9.8	5.7
(3) 学校教育の場で	5.2	18.1	41.1	2.6	1.2	25.9	6.0
(4) 地域社会で	12.8	39.8	21.6	4.6	1.5	14.7	5.0
(5) 政治の場で	48.2	33.3	5.6	1.1	0.7	6.8	4.4
(6) 法律や制度の上で	19.9	31.4	24.3	4.5	2.1	12.8	4.9
(7) 社会通念や習慣で	27.0	46.2	10.8	2.8	1.5	7.7	4.0
(8) 社会全体で	22.0	52.1	10.6	3.4	1.7	6.7	3.5

問2 あなたは、「男性は仕事、女性は家事や育児」という考え方について、どのように思いますか。あてはまる番号に1つ○をつけてください。

1 賛成である	3.4
2 どちらかといえば賛成である	27.6
3 どちらかといえば反対である	31.5
4 反対である	25.6
5 分からない	9.5
NA 無回答	2.3

問3 あなたは、政治や経済分野などにおいて、政策・方針を決定する場に女性の参画が少ない理由について、どのように考えますか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

1 男性優位の組織運営になっているから	65.3
2 性別による男女の役割分担意識が強いから	48.6
3 家事・育児・介護などにおける配偶者等(※)家族の支援が不十分だから	49.1
4 上司・同僚・部下となる男性や顧客が女性リーダーを希望しないから	32.1
5 育児・介護に関する公的サービスが不十分だから	44.2
6 ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた環境づくりが不十分だから	34.5
7 男性の家事・育児参画を進めるための後押しが不十分だから	47.9
8 女性自身がリーダー的立場になることを希望しないから	22.8
9 現時点では、必要な知識や経験を持つ女性が少ないから	19.3
10 キャリア形成支援が不十分だから	21.6
11 企業などにおいては、管理職になると広域異動が増えるから	24.4
12 特に理由はない	0.6
13 その他	3.0
14 分からない	3.0
NA 無回答	2.3

(※)以降、本調査において「配偶者等」と記載あるものは、配偶者に加え事実婚にある方も含みます。

Ⅱ ワーク・ライフ・バランスについてお伺いします

＜現在、結婚(事実婚を含む)されている方にお伺いします。＞

問4 1日のうちであなたが仕事や家事全般（家事、育児、介護を含む）に要する時間は、平日（働いている人は勤務日）どのくらいですか。それぞれについて、あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

（１）仕事（在宅就労を含む。また通勤時間を含む。）

1	なし	24.4
2	3時間未満	7.6
3	3時間以上5時間未満	8.0
4	5時間以上7時間未満	8.1
5	7時間以上9時間未満	18.6
6	9時間以上11時間未満	12.2
7	11時間以上	5.6
NA	無回答	15.4

（２）家事全般（育児、介護を含む）

1	なし	9.5
2	30分未満	7.8
3	30分以上1時間未満	12.3
4	1時間以上2時間未満	13.3
5	2時間以上3時間未満	13.8
6	3時間以上4時間未満	10.5
7	4時間以上5時間未満	6.5
8	5時間以上	14.2
NA	無回答	12.1

＜皆さまにお伺いします。＞

問5 あなたは、男性が、家事・育児・介護に積極的に参加していくために必要なことは何だと思いますか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

1	男性が家事などに参加することについて男性自身の抵抗感をなくす	53.0
2	男性が家事などに参加することについて女性の抵抗感をなくす	20.2
3	家事などに参加することについての社会的評価を高める	38.1
4	性別に関わらず家事などに参加する意識を持たせるような教育をする	61.7
5	夫婦や家族間でのコミュニケーションをよく図る	54.8
6	家事などに参加することについて、職場における上司や周囲の理解を進める	44.9
7	仕事中心の生き方、考え方を改める	42.3
8	労働時間短縮や休暇制度を充実させ、利用を促進する	45.0
9	家事などについての関心を高めるよう啓発や情報提供を行う	19.9
10	行政機関が講座等を開催し、男性の家事などの技能を高める	11.3
11	仕事と生活の両立等の問題について、男性が相談しやすい窓口を設ける	20.5
12	その他	3.8
13	分からない	2.5
NA	無回答	2.5

問6 あなたは、男性が、法律に基づく「育児休業」や「介護休業」を利用することについてどう思いますか。あてはまる番号に1つ○をつけてください。

1	育児休業・介護休業を積極的に取るべきである	26.9
2	育児休業・介護休業を取ることは賛成だが、現実的には取りづらいと思う	60.9
3	育児・介護は女性がするべきであり、男性が休業制度を利用する必要はない	0.9
4	その他	1.8
5	分からない	2.8
NA	無回答	6.6

問7 「育児休業」や「介護休業」を利用する男性が少ないのが現状ですが、あなたは、その理由は何だと思いますか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

1	育児や介護は女性の役割であるという意識が強いから	47.2
2	周囲に休業制度を利用した男性がいないから	39.7
3	休業制度を利用しにくい職場の雰囲気があるから	69.7
4	職場・同僚に迷惑をかけるから	58.1
5	制度利用後の人事評価や待遇面が心配だから	39.5
6	仕事上における知識の遅れや技術の低下が心配だから	21.9
7	休業中の収入が心配だから	45.0
8	その他	1.8
9	分からない	3.0
NA	無回答	5.0

Ⅲ 地域活動についてお伺いします

問8-1 現在も含めて今までに、あなたは地域でどのような活動に参加しましたか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

1	自治会や町内会の活動	40.9
2	P T A活動や青少年指導員等の青少年健全育成活動	19.3
3	社会福祉活動	7.3
4	防災・防犯活動	6.6
5	女性会などの地域団体での活動	4.4
6	その他の地域活動	9.0
7	地域活動に参加したことがない	40.7
NA	無回答	5.4

<**問8-1**で「7 地域活動に参加したことがない」と答えた方にお伺いします。>

問8-2 あなたが参加しなかった理由は何ですか。あてはまる番号に1つ○をつけてください。

1	関心がない	16.9
2	時間が取れない	21.4
3	きっかけがない	23.9
4	情報がない	9.9
5	地域活動の存在を知らない	15.0
6	その他	3.2
NA	無回答	9.9

<皆さまにお伺いします。>

問 9－1 あなたは、地域活動のリーダーとしてもっと女性の参画が必要だと思いますか。あてはまる番号に1つ○をつけてください。

1	そう思う	20.7
2	どちらかといえばそう思う	37.7
3	どちらかといえばそう思わない	9.6
4	そう思わない	4.9
5	分からない	21.7
NA	無回答	5.5

<問 9－1 で「1 そう思う」または「2 どちらかといえばそう思う」と答えた方にお伺いします。>

問 9－2 あなたは、地域活動のリーダーとしての女性の参画を促すためには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

1	リーダー的な役割は男性が担うという性別による役割分担意識を解消する	52.2
2	女性が地域活動のリーダーになることに対して、男性の抵抗感をなくす	52.6
3	女性が地域活動のリーダーになることに対して、女性自身の抵抗感をなくす	35.0
4	女性が地域活動のリーダーになることについて、社会的な評価を高める	33.7
5	女性が地域活動のリーダーに一定の割合でなるような取組を進める	30.3
6	家事・育児・介護などにおいて、配偶者等家族の支援が十分に得られるようにする	45.9
7	その他	1.4
NA	無回答	0.1

<皆さまにお伺いします。>

問 10 地域の防災についてお伺いします。あなたは、災害時の避難所運営において、男女共同参画の視点は必要だと思いますか。あてはまる番号に1つ○をつけてください。

1	必要だと思う	57.3
2	どちらかといえば必要だと思う	25.9
3	どちらかといえば必要だと思わない	1.8
4	必要だと思わない	1.5
5	分からない	8.7
NA	無回答	4.9

問 11 地域の防災についてお伺いします。あなたは、避難所において、男女共同参画の視点から、どのような配慮が必要だと思いますか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

1	避難所の運営、運営方針の決定などにおいて、女性と男性がともに参加すること	71.0
2	女性は炊き出し、男性は力仕事といった性別による役割分担意識の解消	26.2
3	女性および男性が抱えた悩みや避難所生活上の問題を受け付ける窓口の設置	51.6
4	多目的トイレや女性専用スペース、個室の更衣室の設置など、配慮が必要な避難者への対応	75.3
5	その他	1.5
6	分からない	3.4
NA	無回答	4.8

IV 暴力、セクシュアル・ハラスメント等についてお伺いします

問 12 あなたは、次のようなことが配偶者や恋人から行われた場合、暴力だと思いますか。(1) から (12) までのそれぞれについて、あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

	暴力にあたると思う	どのような場合でも暴力にあたると思う	暴力にあたる場合とそうでない場合があると思う	暴力にあたると思わない	暴力にあたる	分からない	無回答
(1) 平手で打つ	73.0	21.3	0.7	1.1	3.9		
(2) 足で蹴る	86.5	7.6	0.6	1.2	4.1		
(3) 身体を傷付ける可能性のある物などで殴る	93.1	2.0	0.2	0.7	4.0		
(4) 殴るふりをして脅す	64.2	26.9	3.1	1.5	4.4		
(5) 刃物などを突きつけて脅す	92.6	2.1	0.5	0.6	4.3		
(6) 相手が嫌がっているのに性的な行為を強制する	83.8	9.2	0.9	1.8	4.2		
(7) 見たくないのにアダルトビデオやポルノ雑誌を見せる	72.6	14.0	4.1	4.9	4.4		
(8) 何を言っても長時間無視し続ける	49.1	34.1	7.3	5.0	4.6		
(9) 交友関係や電話を細かく監視する	51.0	33.3	6.9	4.3	4.5		
(10) 「バカ」「役立たず」など人格を否定するようなことを言う	66.1	25.9	2.6	1.6	3.9		
(11) 大声でどなる	60.5	31.0	3.5	1.7	3.4		
(12) 生活費を渡さない	68.3	19.9	4.2	3.9	3.7		

問 13 あなたは、配偶者や恋人など親密な関係にある人々からの暴力、いわゆる「ドメスティック・バイオレンス（DV）」について相談窓口があることを知っていますか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

1	札幌市配偶者暴力相談センター（DV相談センター）	41.8
2	札幌市男女共同参画室	8.7
3	各区役所	32.3
4	警察	72.0
5	北海道立女性相談援助センター	13.6
6	北海道石狩振興局	1.7
7	民間団体	8.3
8	女性の人権ホットライン	20.4
9	法テラス札幌	17.3
10	その他	0.4
11	知っているものはない	12.2
NA	無回答	3.0

問 14－1 あなたは、「ドメスティック・バイオレンス（DV）」について、経験したり、見聞きしたりしたことがありますか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

1	自分が直接経験したことがある	10.6
2	相談を受けたことがある	8.9
3	相談を受けたことはないが、当事者を知っている	13.2
4	テレビや新聞などで問題になっていることは知っている	66.0
5	見聞きしたことはない	11.6
6	その他	0.6
7	分からない	3.6
NA	無回答	3.2

＜**問 14－1**で「1 自分が直接経験したことがある」と答えた方にお伺いします。＞

問 14－2 あなたは、ドメスティック・バイオレンス（DV）について、どこかに相談しましたか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

1	家族・親族	35.4
2	友人・知人	29.6
3	警察	9.5
4	医師	5.8
5	弁護士	5.8
6	行政の相談機関	8.5
7	民間の相談機関	3.2
8	相談しなかった	37.0
9	その他	3.2
NA	無回答	0.0

＜**問 14－2**で「8 相談しなかった」と答えた方にお伺いします。＞

問 14－3 相談しなかった（できなかった）のはなぜですか。あてはまる番号に1つ○をつけてください。

1	どこ（誰）に相談してよいのかわからなかったから	7.1
2	恥ずかしくて誰にも言えなかったから	7.1
3	相談しても無駄だと思ったから	22.9
4	相談したことが相手にわかると、仕返しされたり、もっとひどい暴力を受けたりすると思ったから	2.9
5	自分さえ我慢すればなんとかこのままやっていけると思ったから	18.6
6	自分にも悪いところがあると思ったから	8.6
7	相談するほどのことではないと思ったから	12.9
8	その他	8.6
NA	無回答	11.4

<皆さまにお伺いします。>

問 15 あなたは、ドメスティック・バイオレンス（DV）への取組としてどのようなことが必要だと思いますか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

1 暴力防止のための啓発を進める	17.4
2 被害を受け悩んでいる人へ情報を提供する	21.2
3 被害を受けた人たちのための相談体制・窓口を充実する	45.4
4 被害者を保護する体制を充実する	54.7
5 被害者が自立して生活できるように支援する	40.6
6 若年層への未然防止の取組を進める	15.5
7 暴力をふるう加害者へ行動の制限や処罰を厳しくする	47.4
8 DV加害者に対する更生のための教育を行うなどの対策をする	16.2
9 その他	1.4
10 分からない	3.1
NA 無回答	8.8

問 16 あなたは、性暴力被害について相談できる窓口があることを知っていますか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

1 性暴力被害者支援センター北海道（さくらこ）	15.1
2 警察	74.5
3 民間団体	8.9
4 その他	0.3
5 知っているものはない	18.9
NA 無回答	3.0

問 17－1 あなたは、この3年の間に職場や日常生活で、セクシュアル・ハラスメントと思う行為を受けた経験がありますか。あてはまる番号に1つ○をつけてください。

1 受けたことがある	8.5
2 受けたことはない	83.8
NA 無回答	7.7

<**問 17－1**で「1 受けたことがある」と答えた方にお伺いします。>

問 17－2 あなたが受けた行為は、どのような行為ですか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

1 「女のくせに」「女だから」または「男のくせに」「男だから」などと言われた	41.4
2 酒席などでお酌等を強要された	16.4
3 異性との交際、結婚や出産など、プライベートなことについて不必要に聞かれた	42.1
4 容姿や年齢について不必要に話題にされた	30.9
5 性的な話や冗談を聞かされた	34.9
6 性的な噂を立てられた	8.6
7 不必要に身体を触られた	27.6
8 性的な内容の手紙やメール、電話を受けた	6.6
9 交際・性的な関係を強要された	9.2
10 性別を理由として不本意な服装等を強制された	5.9
11 その他	2.0
NA 無回答	5.3

<皆さまにお伺いします。>

問 18 あなたは、女性の生涯にわたる健康づくりのための支援策として何が必要だと思いますか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

1	女性の健康に関する講座等の学習機会の充実	26.5
2	女性の健康に関する情報の提供	47.5
3	公的機関での相談	27.2
4	医療機関での女性専門外来の設置	53.3
5	学校における女性の健康に関する教育の推進	42.3
6	その他	2.0
7	分からない	11.1
NA	無回答	3.1

V 性の多様性についてお伺いします

問 19 あなたは、性的少数者（セクシャルマイノリティ）に対する理解の促進や支援にはどのようなことが必要だと思いますか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

1	いじめや差別を禁止する法律や制度の見直し	57.3
2	職場や学校等における理解の促進	67.7
3	専門相談窓口の充実	37.6
4	行政機関による啓発や広報活動の推進	32.3
5	申請書などの性別欄を削除するなどの配慮	27.6
6	その他	2.1
7	必要だと思わない	2.9
8	分からない	9.4
NA	無回答	2.5

問 20 あなたは、性的少数者（セクシャルマイノリティ）に関する次の制度及び性自認・性的指向（※）について相談できる窓口を知っていますか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

1	札幌市パートナーシップ宣誓制度	15.6
2	札幌市LGBTフレンドリー指標制度	4.4
3	LGBTほっとライン	10.8
4	みんなの人権110番	14.6
5	その他	0.4
6	知っているものはない	65.3
NA	無回答	3.9

（※） 性自認とは、「自分が感じている性別（心の性）」のことをいいます。

性的指向とは、「恋愛対象となる性別（好きになる性）」のことをいいます。

Ⅵ 男女共同参画に関する施策についてお伺いします

問 21 あなたは、男女共同参画に関する事項について、どの程度知っていますか。(1) から (12) までのそれぞれについて、あてはまる番号に 1 つずつ○をつけてください。

	内容まで知っている	見聞きしたことはある	知らない	無回答
(1) 男女共同参画社会 (※)	9.8	43.6	39.1	7.5
(2) ポジティブ・アクション (積極的改善措置)	1.8	15.9	73.5	8.8
(3) ジェンダー (社会的・文化的につくられた性別)	22.8	47.1	22.1	8.0
(4) リプロダクティブ・ヘルス/ライツ (性と生殖に関する女性の健康と権利)	2.6	12.8	76.0	8.5
(5) ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和)	23.2	33.7	34.2	8.8
(6) ドメスティック・バイオレンス (DV、配偶者等からの暴力)	51.6	31.8	9.2	7.4
(7) デートDV (交際相手からの暴力)	30.8	35.2	26.0	8.0
(8) 性的少数者 (セクシャルマイノリティ)	33.3	41.8	17.1	7.9
(9) L G B T (レズビアン・ゲイ・バイセクシャル・トランスジェンダー)	37.6	41.3	13.6	7.5
(10) アウティング (了承なく、その人の性自認や性的指向を暴露すること)	7.2	21.6	62.9	8.3
(11) 札幌市男女共同参画推進条例	3.0	26.7	62.6	7.7
(12) 男女共同参画さっぽろプラン	1.8	16.3	73.9	8.0

(※)男女共同参画社会とは、「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」をいいます。

問 22-1 札幌エルプラザ(所在地：札幌市北区北 8 条西 3 丁目)内に、男女共同参画の推進に関する活動の総合的な拠点施設として「札幌市男女共同参画センター」があります。あなたは、札幌市男女共同参画センターを利用したことがありますか。あてはまる番号に 1 つ○をつけてください。

1 利用したことがある	2.8
2 男女共同参画センターのことは知っているが、利用したことはない	17.5
3 男女共同参画センターがあることを知らなかった	72.4
NA 無回答	7.3

<問 22-1 で「1 利用したことがある」または「2 男女共同参画センターのことは知っているが、利用したことはない」と答えた方にお伺いします。>

問 22-2 あなたは、札幌市男女共同参画センターで行われている事業について、どの程度知っていますか。あてはまる番号に いくつでも○をつけてください。

1 各種講座や講演会	48.9
2 電話相談・面接相談	32.4
3 男女共同参画情報誌「りぷる」	11.0
4 研修室などの有料貸室	26.9
5 情報センター (図書資料等の提供)	26.6
6 知っているものはない	20.6
NA 無回答	6.0

<皆さまにお伺いします。>

問 23 あなたは、男女共同参画社会を目指すためには、どのようなことが重要だと思いますか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

1	法律や制度の見直しを行い、女性差別につながるものを改める	28.2
2	女性に対する偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりを改める	36.5
3	女性を政策決定の場に積極的に登用する	15.4
4	各種団体の女性のリーダーを養成する	8.5
5	職場における男女の均等な取り扱いについて周知徹底する	17.5
6	労働時間の短縮や在宅勤務の普及など男女ともに働き方の見直しを進める	23.3
7	女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスを充実する	13.3
8	子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援を行う	39.7
9	学校教育や社会教育の場で、男女の人権を尊重する学習を充実する	20.7
10	DV・性暴力等の防止のための取組や被害者支援を行う	11.5
11	男女共同参画についての相談窓口を充実する	3.5
12	男女の平等と相互の理解や協力について啓発を進める	9.0
13	多様な性のあり方（性的少数者）について正しい理解を深めるための啓発や支援を行う	9.8
14	その他	1.5
15	分からない	5.6
NA	無回答	12.7

問 24 男女共同参画に関する市政へのご意見・ご要望があれば記入してください。

VII 最後に、あなた自身のことについてお伺いします

F 1 年齢はおいくつですか。(令和3年7月1日現在)

1 18～19 歳	1.2
2 20～29 歳	7.9
3 30～39 歳	11.7
4 40～49 歳	15.4
5 50～59 歳	17.4
6 60～69 歳	19.4
7 70 歳以上	25.5
NA 無回答	1.5

F 2 性別を教えてください。

1 女 性	58.8
2 男 性	39.7
3 その他	0.1
NA 無回答	1.3

F 3 職業を教えてください。

1 会社・団体などの役員	4.8
2 正規の社員・職員	25.5
3 派遣・契約社員	6.5
4 パートタイマー・アルバイト	14.4
5 自由業・自営業・家族従業	5.3
6 家事専業	13.5
7 学 生	2.5
8 無 職	25.3
9 その他	0.5
NA 無回答	1.7

F 4 結婚していますか。

1 未 婚	21.1
2 既 婚 (※)	63.8
3 既 婚 (離別・死別)	13.7
NA 無回答	1.5

(※)既婚には、事実婚を含みます。

F 5 同居しているご家族の構成を教えてください。

1 ひとり暮らし	20.2
2 配偶者等	46.9
3 パートナー (※)	1.0
4 親と子 (二世帯)	24.0
5 親と子と孫 (三世帯)	3.4
6 その他	2.9
NA 無回答	1.7

(※)パートナーとは、性的少数者 (セクシャルマイノリティ) に係るパートナーシップの関係にある方をいいます。